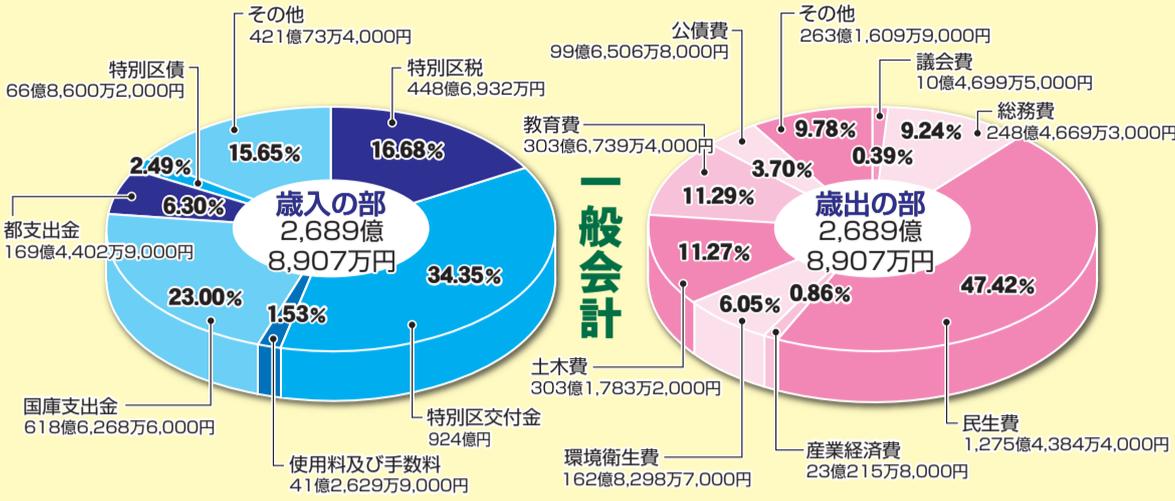


# 平成27年度各会計予算

\*平成27年度各会計予算及び平成26年度一般会計予算の数値は、補正予算(第1号)を含みます。

区分	27年度	26年度	増加額	増加率
一般会計	歳入歳出総額 *268,989,070千円	*259,445,705千円	9,543,365千円	3.5%
国民健康保険特別会計	歳入歳出総額 *98,358,238千円	84,544,904千円	13,813,334千円	14%
介護保険特別会計	歳入歳出総額 *51,099,010千円	50,315,491千円	783,519千円	1.5%
後期高齢者医療特別会計	歳入歳出総額 *12,890,765千円	12,480,057千円	410,708千円	3.2%



**一般会計 歳入の主なもの**

特別区税	区民のみならずから区へ納められた税金。特別区民税、軽自動車税など。
特別区交付金	都が課税する固定資産税などを原資にし、都と23区間で財源の均衡調整を図る交付金。
国庫支出金 都支出金	特定の事業や使いみちのために、国や都から交付される補助金など。

**一般会計 歳出の主なもの**

総務費	災害対策や選挙、広報、町会・自治会活動支援に関する経費。
民生費	子育て支援、高齢者施策、生活保護などの福祉に関する経費。
土木費	道路や公園の整備に関する経費。
教育費	学力向上施策や校舎整備、幼稚園補助、生涯学習に関する経費。

## 平成27年度各会計予算 予算特別委員会審査

平成27年度各会計予算案を審査するための予算特別委員会が開会され、3月2日から11日まで延べ6日間審査を行いました。

### 委員会での質疑及び審査結果

平成27年度予算は、「子ども」の未来のために、今、新たなステージへ」と銘打ち、国が子どもの貧困対策に取組む姿勢を明らかにしたのを契機に、当区においても、平成27年度を対策元年と位置付け、子どもの貧困対策に真正面から立ち向かう取組みを強く推進することを目指したものとしています。

本委員会では、今後の財政運営、歳入の確保、エリアデザイン、特定健診、待機児童対策、災害・防災対策、窓口業務の外部化、子どもの貧困対策、区内産業の活性化、発達障がい者就労支援、高齢者支援、健康づくり施策、鉄道立体化事業、道路の新設・改良事業、耐震化の促進、学校教育の各施策、学校統廃合等、各委員から区政全般について幅広く質疑が行われました。

また、ぬかが和子委員ほか2名から、平成27年度「一般会計予算」「国民健康保険特別会計予算」「介護保険特別会計予算」の修正案が提出されました。質疑終結後、各会派から討論が行われ、8議案及び修正案について採決しました。

### 本会議での議決結果

3月17日の本会議において、吉岡茂委員長より報告がされた

後、採決を行いました。その結果、8議案を原案のとおり可決し、平成27年度予算が成立しました。

### 予算特別委員会委員(21名)

委員長	吉岡茂
副委員長	長岡井まさのり
委員	鹿嶋和昭
委員	ぬかが和子
委員	馬場信男
委員	古渡ひであき
委員	新井守宏
委員	藤沼英生
委員	白石壮次
委員	あが直昭
委員	うすい浩一
委員	きじまてい
委員	たかがみ
委員	前野和明
委員	さとう純彦
委員	伊藤修平
委員	おぐら
委員	市川

### 特別委員会報告(要旨)

#### 交通網・都市基盤整備調査特別委員会

本特別委員会は、交通網の整備及び誘致促進並びに都市基盤整備に関する調査研究を進めてきました。

**都市交通施策について**  
区総合交通計画に基づきバス路線網の整備、公共交通空白地域の解消が求められます。

**北綾瀬駅の整備について**  
東京地下鉄株式会社と連携し、進捗を見守る必要があります。

**鉄道路線網の強化等について**  
地下鉄8号線区内延伸実現へ、関係機関への働きかけの継続等が必要であり、上野東京ラインはさらなる利便性向上に向けた取り組みが期待されます。

#### 子ども施策調査特別委員会

本特別委員会は、子どもの健全な成長に関すること等の調査研究を進めてきました。

**待機児童対策について**  
保育定員の増や認可保育所以外の保育サービスの情報発信の充実で待機児童解消に努めてきました。

**子ども支援について**  
小学校への移行を円滑にするための事業に加え、放課後の児童の健全育成のため「放課後児童クラブ」の充実等、多様なニ

ズへの対応が求められます。子育て支援の環境整備について  
子育てサロン事業等、展開中の事業の一層の充実が期待されます。また、現在検討中の産後ケアの一層の研究が必要です。

**災害対策について**  
区が掲げる「死者をなくす」目標達成に向け、防災に関する政策・方針決定過程及び防災現場での女性参画拡大と、高齢者や子ども、障がい者等に、よりいっそう配慮した防災対策の推進を要望します。

**オウム(アレフ)対策について**  
関連裁判で引き続き区の正当性を主張するとともに、勝訴に向け万全な対応策が必要です。

**放射線対策について**  
区民の不安は完全払拭とは言えず、測定器の貸し出しや学校給食検査について区民や委員からも要望されています。

**生活保護・高齢者生きがい対策調査特別委員会**  
本特別委員会は、生活保護の適正実施及び高齢者の生きがい対策等に関する調査研究を進めてきました。

生活保護の適正実施について  
生活保護受給に至る経緯は、社会的要因が複雑かつ高度に絡み合っています。世帯に応じた支援策を適正かつ重点的に推進するとともに、自立支援を促進する一方、関係機関との連携強化も重要です。